

第5学年 国語科学習指導案

1. 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう
「ニュース番組作りの現場から」「工夫して発信しよう」

2. 単元のねらい

- 取材した内容を、目的に合わせて整理し、編集して積極的に伝えようとしている。
【関心・意欲・態度】
- 自分の考えたことや伝えたいことが分かるように、話の組み立てを工夫しながら、適切な言葉遣いで話すことができる。
【話す】
- 話し手の意図をつかみながら聞くことができる。
【聞く】

3. 指導にあたって

こんな子どもだから

- 本学級の子どもたちは全体の中で進んで発表しようとする子は約半数で、自分の考えを尋ねられる質問では、特定の児童が発表する傾向がある。また、発表することに精一杯で、聞き手の反応を見ながら話せる子は少ない。
- 子どもたちはこれまでに、「インタビュー名人になろう」の学習でグループごとに調べる課題を決め、インタビュー活動によって情報を集めて、模造紙にまとめて発表する活動を経験してきている。このことによって、グループでの話し合いや調べ活動に随分慣れてきている。
- 本単元では子どもたちに、調べたことを自分の考えを加えながら話の組み立てを工夫して伝えたり、話し手の意図を考えながら聞いたりする力をつけたい。本単元はこれまでの学習よりも、聞き手を意識して伝え方を考える学習であることから、学習する価値があると考える。

〇〇キラキラ学習とのかかわり

- 子どもたちは、これまでの〇〇キラキラ学習において、〇〇リサーチ隊となり、〇〇のいいところ、自慢できることや人について課題をもち、同じ課題をもったグループで調べてきた。その際、国語「インタビュー名人になろう」の学習した内容を生かしてインタビューの内容についてバズセッションしたり、そこでの体験を模造紙に表現してみんなの前で発表したりして多様な発表経験をさせてきている。
- 本単元は、調べてきたことをどうまとめていくか、またそれをどのように表現するか考えていく上で、聞き手を意識させる手法が示されているところによさがある。これまで以上に聞き手を意識することで、伝えたいことや意図をより分かりやすく伝えようとし、どのような言葉遣いで伝えればよいのかを考えることができるだろう。そうした過程を経ることで、自信を持って表現する力が育っていくと考える。

こんな支援で

- 「ニュース番組作りの現場から」の学習で、番組作りの大切な点を確認していく。
- ニュース番組や新聞など具体物を用意し、子どもたちのイメージをふくらませる。
- 耳で聞いて分かりやすい言葉を選び、始めに結論を言い、後から理由を述べるような文章構成になるよう助言し、リハーサルの時間を確保する。
- 話し合う際のポイントを示した掲示物を準備する。
- 学習プリントを用意し、話し合いの視点が焦点化されるようにする。

こんな力を

- 相手に内容を正確に伝えるために、目的に合わせて必要な情報を整理、加工して自信をもって伝えることができる。
- 相手に分かるように話の組み立てを工夫しながら、適切な言葉遣いで話すことができる。
- 相手の意図を考えながら目的意識をもって聞くことができるようにする。
- 話題や話の進行に沿って、建設的な意見を述べるようにする。

4. 主な学習活動と内容・評価規準および教師の支援 (15時間)

学習過程 (配時)	主な学習活動と内容	評価規準	教師の支援
つかむ (6)	<p>1. 学習の見通しを持つ。 ○テレビのニュース番組を見た経験をもとに、教師の範読を聞き、その感想を発表。①</p> <p>2. 「ニュース番組作りの現場から」を読む。① ○全文を読んだ上で、書かれていることの要旨の把握。</p> <p>3. 番組作りの過程で大切な点や、気をつけることを読み取り、理解する。④ ○仕事を担当するスタッフの努力や願い ○ニュースの番組構成や視聴者を引きつける工夫</p>	<p>【関・意・態】 これまでの経験をふり返りながら意欲的に発表しようとしている。 (行動観察)</p> <p>【読む】 相手の話を最後まで聞いて、内容を理解することができる。 (行動観察)</p> <p>【書く】 番組作りの工夫や努力、願いをまとめる。 (学習プリント)</p>	<p>※ イメージをふくらませることができるよう、事前にニュース番組を見てくるよう助言し、自分たちも番組作りしようとする意欲を持たせる。</p> <p>※ 番組作りの工夫や努力を感じ取れるように実際のニュース映像を用意し、話題の選び方、映像の使い方、話し方など教科書と照らし合わせながら見せる。</p>
さぐる (8) 本時 9 / 15	<p>4. 「工夫して発信しよう」を読み、自分たちの学校に関することでどんな話題を取りあげるかチーム毎に話し合い、今後の学習計画を立案する。② ○話題設定と、取材内容・調べる方法の決定</p> <p>5. 自分たちの話題を調べるために必要なことの見直しをする。① ○前時に決めたことの出し合い ○よりよい取材内容・方法 ○グループになって話し合い (本時)</p> <p>6. 必要な材料を集める。② ○前時の話し合いで決まった方法で</p> <p>7. 集めた材料をもとに何を中心にして伝えるか話し合う。① ○大まかな構成の決定</p> <p>8. 編集会議を行う。② ○記事の下書き ○さらに必要な材料の準備</p>	<p>【関・意・態】 どんなニュースにしたいか、積極的に自分の考えを発言しようとしている。 (行動観察・学習プリント)</p> <p>【話す】 目的に合わせて必要な情報を整理し、話すことができる。(行動観察)</p> <p>【聞く】 相手の話の意図や伝えたい内容を理解することができる。</p> <p>【書く】 聞き手を意識して筋道を立てて文章を書くことができる。(下書きの原稿)</p>	<p>※ 子どもたちが分かりやすいように決めなくてはならない項目を、教室横に大きく掲示しておく。</p> <p>※ 子どもたちがイメージしやすいように効果的な方法を例示する。</p> <p>※ 各チームが決めたことを把握しておき、教室横に掲示する。</p> <p>※ 活発に話し合わせるために、意見が出ていないチームには学習プリントや掲示物を参考にしながら考えるよう助言する。</p>
ふり返る (1)	<p>8. お互いの作品を視聴する。① ○ 作品を見て相互評価 ○ 必要に応じて付加修正</p>	<p>【話す】 話す速さや声の大きさに気をつけて話すことができる。(行動観察)</p> <p>【聞く】 相手の意図をつかみながら聞き、自分の考えに生かそうとすることができる。(行動観察)</p>	<p>※ 作品を評価しやすいように、評価の視点を示したカードを用意しておく。</p>

6. 本時目標

- より効果的に発信者の意図を伝えられる取材内容・方法は何かを考えながら、積極的に話し合いに参加している。 【関・意・態】
- 伝えたいことや意図が伝わるように話したり、相手の話を自分の考えと照らし合わせながら聞いて、見直すことができる。 【話す・聞く】

7. 本時指導の考え方

子どもたちは本時まで、「ニュース番組作りの現場から」という単元を学習し、作っている人たちの疑問や驚きが出発点となって情報が工夫しながら伝えられる過程を学習している。

またその学習をふまえた上で、自分もニュース番組を作りたいという意欲をもって、自分が伝えたいこと、相手が知りたいことを考えて、生活班を一つのチームとし、そのチームで、①自分たちの学校に関することでどんな話題を取りあげるか、②それについて伝えたいことは何か、③どのように調べ伝えるかについて考え、方向性を決めている。

そこで本時では、より聞き手を意識することができるように、前時に考えたうちの②・③について、互いの取材内容や調べる方法について見直すことをねらいとしている。そのために、小グループに分かれてお互いの取材内容や調べる方法についての共通点や相違点を見いだすことのできるバズセッション形式の交流活動を仕組むことで、自分たちの考えに自信を持ったり、新たな考えに気づいたりすることができるように考える。

まず前時に決めた二つの項目を見直すことの利点を具体的に考えさせ、話し合いに対する目的意識をもたせる。そうすることで、見直しをすることが自分たちの作品を聞き手にとってより分かりやすく、伝わりやすいものにできると気付かせる。

次に、実際の話し合いの進め方を示し、どのような順序で学習を進めるのかを確認し、子どもたちに見通しをもたせる。話し合いは二つのチームで一つのグループを作って行う。

話し合う際には、様々な取材内容（例：歴史、背景、現状、特徴など）や方法（例：インタビュー、本、インターネット、アンケートなど）の中で、どうすれば効果的に発信者の意図を伝えられるかを念頭に置きながら活動させる。その際、単に内容や方法を選ぶだけではなく、例えばインタビューを行うのであれば、どんな質問を、誰に聞くのか、また映像に残すのであれば撮る場所やアングルなど、細かな点まで考えさせ、交流させたい。

さらに学習プリントを用意し、自分の考えや友達の意見、考えの変化が書き込めるようにすることで、その時間の自分の考えと、チームの考えをまとめられるようにする。

最後には学習プリントをお互いに見せ合い、頑張りを認め合った後、今後の学習にも生かしていけるようなまとめ方をしたい。

8. 準 備

(児 童) グループごとの考えを書いた紙

(教 師) 話し合いの進め方、話し方・聞き方(掲示物)・学習プリント

9. 本時学習の展開

主な学習活動と内容	教師の支援
1. 本時めあてを確認するために前時の学習をふり返る。 ○ 取材内容、調べる方法の確認	※ 前時までの学習を想起しやすいように、各チームで決めた取材内容・調べる方法について書いた掲示物を用意しておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>めあて</p> <p>自分たちの考えを出し合い、話題がより効果的に伝わる取材内容・方法をグループの中で話し合っ</p> </div>	
2. 2つの項目を見直すことの利点を確認する。 ○ 取材内容の例 ○ 調べる方法の例	※ 子どもたちの考えた話題とは別の具体例を用意し、様々な取材内容、方法を書いたカードを黒板に掲示する。その上で、より効果的に伝わる内容・方法を考えることの利点を考えさせる。
3. 話し合いの進め方を確認する。 ○ 学習の進め方の確認 ○ 学習プリントの説明 ○ 話し方・聞き方の確認	※ 話し合いの進め方を教室横に掲示しておき、子どもが確認できるようにする。 ※ 話し方・聞き方についても教室横に掲示物を用意しておき、確認できるようにする。
4. グループ内でチーム毎に考えを発表する。 ○ 前半チームの発表 → 意見交換 ○ 後半チームの発表 → 意見交換	※ 聞き手のチームの考えをつくりやすいように、事前にそれぞれのチームの考えを書いた資料を用意しておく。 ※ 考えを整理し、自信をもって発言できるようにするために学習プリントを内容と方法、そして自分の意見について書く欄を分ける。 ※ グループ毎に話し合わせ、考えが整理できていない場合は必要に応じて助言する。
5. 全体交流を行う。 ○ 各チームで出た意見の発表 ○ 考えの整理	※ 他のチームが参考にできるようにチームの代表者に話し合ったことを発表させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>評価規準</p> <p>【話す・聞く】</p> <p>自分の伝えたいことや考えたことが伝わるよう話したり、相手の話の意図を考えながら聞いたりして、自分の考えを見直すことができる。</p> <p>(行動観察・学習ノート)</p> </div>	
6. 今日の学習をふり返る。 ○ 学習プリントを見ながら考えの見直し ○ 話し合い活動に対しての自己評価	※ 学習プリントをもとに活動をふり返るよう声かけをし、今後の活動に意欲をもてるようまとめる。